

# 来週の「売り物記事」はこれ



2018年6月22日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## 「渋谷暴動」背負い続けた若者たち

殉職警官と逃亡活動家の人生・家族・その後

24日(日)



「渋谷暴動」を叫ぶ学生たちが東京・渋谷を占拠しようと武装蜂起したのは1971年のことでした。暴徒化した学生と警察が衝突した結果、21歳の機動隊員が死亡し、22歳だった無名の中核派学生活動家、大坂正明被告(68)が殺人容疑で指名手配されました。

約46年逃亡した大坂被告が起訴されてから今月で1年。事件を背負い続けた若者たちと、その家族の歳月を追いました。

筆者は東京社会部の堀智行記者です。



## はたらく 農業に挑む元暴走族総長

くらしナビ面 25日(月)



従事者の平均年齢が66歳を超えた日本の農業。高齢化や担い手不足、そして耕作放棄地の増加など、課題は山積しています。

千葉県で小松菜などの野菜作りに励む農業法人社長の田中健二さん(40)は、10代の頃、暴走族のリーダーでした。その企業理念は「革命を起こし『農』と言える日本へ」——。ベトナム人実習生らと汗を流す田中さんの奮闘を追いました。

## マイウェイ わたしの生き方 漫画家、声楽家 池田理代子さん

サラダぼうる面 25日(月)

代表作「ベルサイユのばら」で知られる池田理代子さんは大阪市出身。子どもの頃から空想の物語を作って描くのが好きで、教科書の余白という余白は、女の子のスタイル画で埋まっていました。「ベルばら」の主人公は、軍人の男性が何を考えているか分からないので女性にしたそうです。

47歳で音楽大学に入って声楽を専攻。人生を楽しむ池田さんをご紹介します



## ビジネス界からプロレス界へ転身

夕刊特集ワイド 25日(月)

日本コカ・コーラの副社長としてヒット商品を生み出し、苦境にあった玩具大手タカラトミーの社長に招かれ、約2年半で業績をV字回復——。経済界の注目を集めてきた”プロ経営者”のハロルド・メイさん(54)＝オランダ国籍＝が次に選んだのは、新日本プロレスリング(新日)の社長でした。

なぜ新たな「リング」に上がったのでしょうか。スポーツ興行という真っ白なマットで新たなゴングが鳴りました。

メイ社長にインタビューし、その真意と新日本プロレスの可能性に迫りました。



## 住 リビング 玄関をすっきり

くらしナビ面 26日(火)

帰宅した家族を迎える一方、来客にはその家の顔としての役割を果たすのが玄関。ただ、今どきの住宅はスペースが限られ、こまごました物が増えやすい傾向にあります。げた箱の靴やスリッパ、遊び道具、スポーツ用品……。頭を悩ませている人も多いでしょう。「すっきり」した玄関にするためにはどうしたらいいのか、整理収納アドバイザーに聞きました。



## 読み解きワード 介護現場・職員の不足

医療・福祉面 27日(水)



介護現場で働く職員の不足が深刻化しています。スタッフ不足のためベッドが空いている施設さえあります。政府の推計では2025年には人材不足は34万人にも達する見通しです。背景には、高齢化で要介護認定を受ける人が増える一方で、介護職の賃金が高産業より低く人材が集まりにくいという事情があります。

将来に向けてどうすべきか、解説します。

## 119番元素合成に挑む

科学面 28日(木)

理化学研究所の研究チームが合成に成功した113番元素がニホニウムと命名され、元素周期表に初めて日本由来の元素が書き入れられてから1年半が経ちました。理研のチームは119番元素の合成を目指し、実験をスタートさせています。元素は物質の根幹です。自然界には存在しない新たな元素の合成に向けた挑戦を紹介します。



## 通常国会の会期延長 民主主義担う政党とは

オピニオン面 29日(金)

通常国会の会期が7月22日まで延長されました。安倍晋三首相は森友・加計学園問題で野党の追及をかわしつつ、働き方改革関連法案や、カジノを含む統合型リゾート（IR）実施法案の成立を目指しています。9月の自民党総裁選を控え、日本政治の未来を占う「夏の陣」のはずですが、与野党の「一強多弱」が際立つ国会審議には閉塞感が漂っています。政党の存在意義とは何でしょうか。

時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。

